

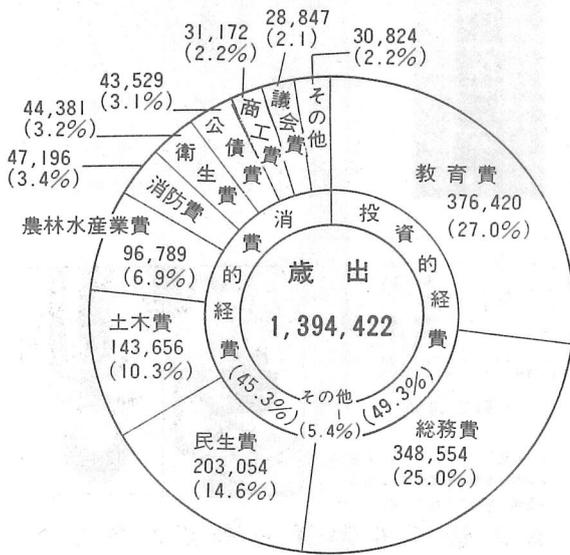
税負担の状況

町の財政のうえで比重が高く町民の皆さんに負担していただいている税負担の状況は第4図のとおりです。住民一人当りの税負担の状況は二万二千三百四十一円、また一世帯あたりでみると九万一千百六十二円となっております。

歳 出

歳出決算額は総額一三億九千四百四十二万二千円でその主なものは、教育費三億七千六百四十二万円(二七・〇%)、総務費三億四千八百五十五万四千円(二五・〇%)、民生費二億三千五百四十四円(一

第3図 (単位千円)



四・六%)、土木費一億四千三百六十五万六千円(一〇・三%)、農林水産業費九千六百七十八万九千円(六・九%)となっております。

(第3図参照)

町の財政のうえで比重が高く町民の皆さんに負担していただいている税負担の状況は第4図のとおりです。住民一人当りの税負担の状況は二万二千三百四十一円、また一世帯あたりでみると九万一千百六十二円となっております。

自主財源(三六・四%)の乏しい町財政を一層窮屈にしている現状です。

なお、四十九年度に実施された主な事業は次のとおりです。

- 共同利用施設建設事業(大総会館・練越明許分)
- 一億七百二十五万四千円
- 共同利用施設建設事業(上堺会館)
- 三千七百三十三万四千円
- 大総会館所防音改築事業
- 五千四百九十九万九千円
- 横芝第二保育所増築事業
- 七百八十万円
- 栗山川漁港改修事業
- 二千九百九十六万円
- 道路整備事業
- 一億一千二百三十四万三千円
- 大総小学校防音改築事業(事故繰越分)
- 七千六百六十七万円
- 横芝小学校講堂改築事業
- 一億四千九百七十六万四千円
- 災害復旧事業
- 三百六十万五千円
- 公共用地取得造成事業
- 二千六百七十二万五千円

借りているお金

昭和四十九年度末現在高は、四億七千二百二十八万六千円です。

この資金源は大蔵省・郵政省の低利な資金を活用する外、千葉県独自の資金等で学校・住宅・道路・福祉施設などの建設事業のため

特別会計

国民健康保険特別会計については大巾な医療費の改定に加え、高額療養費支給制度の実施、さらに老人医療費無料化等の影響によって大きな伸びが見られます。有線放送電話特別会計、国民保養センター特別会計については経常的決算となっております。(5・6・7図参照)

- 共同利用施設建設事業(上堺会館)
- 二千八百六十万円
- 大総会館所防音改築事業
- 一千五百五十万円
- 横芝第二保育所増築事業
- 五百二十万円
- 道路整備事業
- 二千三百六十万円

第6図

歳入決算高	25,874千円
歳出決算高	24,168千円
差引残高	1,706千円

第7図

歳入決算高	8,368千円
歳出決算高	8,194千円
差引残高	174千円

第5図 国保特別会計

